

## 120723 ユリの王様

作日(7/22)の朝は比較的涼しそうな感じでしたので、南河内の“里山”に出かけることにしました。

南海高野線の「天見」駅で下車し、約6時間のハイキングの途中、生きもの写真を撮影したのですが、歩き始めてすぐに雷鳴とどろき大粒の雨が…。(15分ほどでやみましたが…)

この日の撮影写真の中から、今、満開の「ユリの花」を紹介いたします。

### 写真 . . . : ヤマユリ

大きな花は直径30cmほどもあり、“ユリの王様”と言ってもいいでしょうね。山地や丘陵地のススキなどの草原に多く見られますが、茎が1mくらいの長さになると、大きくて重い花が地面近くまで垂れ下がっている個体もありました…

### 写真 . : オニユリ

花の重さで垂れ下がる「ヤマユリ」に対して、こちらの茎は丈夫で、まるで天を突くかのような勢いで伸びています。

その勢いある様子から“赤鬼”を連想して、「オニ」の名がついたのでしょうか…

花の直径は10cmほどですが、一つの花茎に20個近く咲かせるようです。

葉の付け根に、黒い「ムカゴ」を付けるのも特徴です。

### 写真 : ヤブカンゾウ

花は八重咲きです。

田んぼの土手や林縁など、あちこちで花を咲かせるのですが、実は結ばないそうです。

カンゾウ(萱草)とは、この花を見ているとその美しさにうたれて、物も忘れてしまう…、という故事からきているようで、「忘れ草」とも呼ばれています。











